



拝啓、会員様 ~森協会長のひとこと~

先月の臨時総会にて次年度役員の顔触れが出揃いました。私が全幅の信頼を置く今年度役員に勝るとも劣らない頼もしい面々で、壇上にて「異議なし」の声を聞くあの瞬間は、皆いい顔していましたね(笑)

第37期もあと一ヶ月半となりましたが、終わり良ければ全て良し。

今年度役員の皆さん、くれぐれもやり残す事のないように。すべての会員が己の成長の一つでも実感出来るよう、最後まで手綱を締めていきましょう。

我々も、昨年のあの日・あの瞬間を思い出して・・・。

ちょっと聞いてや!!

いよいよ第37期も、最終コーナーをまわってラストスパートになりました。各委員会、1年間の活動の総まとめに入ってきているのではないのでしょうか?

1年前、委員長を仰せつかり、ラストスパートを掛けたのを思い出します。無事にゴールできたのも、委員会メンバーのお蔭! 1年間同じ委員会での時間を過ごしたメンバーに感謝の気持ちを込めてラストスパートのムチを振ってください!

そして、共にゴールして1年振り返った時、森協会長の掲げられたスローガン【成長】の文字がはっきり見えてくるのではないのでしょうか! (県出向理事:竹ノ内賢一郎)

鳥取県中小企業青年中央会 視察研修事業



平成24年4月21日(土)~4月22日(日)の2日間、入会して初の鳥取県中小企業青年中央会 視察研修事業へ参加させていただきました。

この度の研修テーマは、「エコ」ということで、初日は三井アウトレットパーク倉敷、2日目は麒麟ビール岡山工場と岡山県内の施設を視察してまいりました。どちらの施設も積極的に環境への取り組みをされており、自分では「些細なこと」と思っていたことが、積み重ねることにより環境への配慮となったり、また悪影響を及ぼしたりするということに気づかされた研修となりました。そして視察研修事業のもうひとつの目的として、お互いの親睦(絆)を深めるということで、初日の夜には盛大に懇親会が開催されました。

会場は終始、笑い声に包まれ、楽しい時間を過ごさせていただきましたので、私を含め皆様が目的以上の親睦を深められたのではないのでしょうか。(記事:秋里)

4月度委員会報告

人間開発委員会
平成24年4月6日(金)於: レストランぶどうの木 出席者/12名
議題/・役員会報告
・松江YEGとの交流事業についての反省
・5月担当例会について
・その他

政治経営委員会
平成24年4月5日(木)於: 味空間 こうりん坊 出席者/16名
議題/・役員会報告
・総合特区についての意見交換会
・会員拡大について
・その他

地域ビジョン委員会
平成24年4月6日(金)於: 炉端かば米子店 出席者/14名
議題/・役員会報告
・3月例会打ち合わせ
・会員拡大について
・その他

広報委員会
平成24年4月5日(木)於: 米子市公会堂 出席者/14名
議題/・役員会報告
・ハンサム発行について
・DM実践について
・OB交流会について
・その他

総務委員会
平成24年4月11日(水)於: 米子ニューアーバンホテル 出席者/17名
議題/・役員会報告
・安来YEG交流事業について
・安来YEG交流事業(ウォーキング下見)
・会員拡大について
・その他

5月役員会報告

4月役員会が平成24年5月1日(火)米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・4月家族例会開催報告の件
- ・5月例会開催の件
- ・6月例会開催の件
- ・安来YEG交流事業の件
- ・OB交流会の件

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

5月例会案内

と き:平成24年5月15日(火) 19:00~21:15
と ころ:米子全日空ホテル
内 容:パネルディスカッション・グループ討論
担 当:37期 人間開発委員会

編集後記

決算月を3月としている企業は多いです。その企業にとって今は決算業務が追い込みの時期ではないのでしょうか。ところで、私たち中央会の決算月は6月。中央会、委員会、会員、皆が笑って、それぞれの良い「決算書」が出来るよう37期の残り2ヶ月を頑張らしましょう! (記事:西村)

成長 Handsome

Handsome CONTENTS May 2012

巻頭記事 第38期副会長・専務理事・理事・監事決定!!

第38期県出向役員候補決定!!

4月例会開催

4月例会を終えて
4月家族例会 リーダー 専務理事 岩田 剛

連載 拝啓、会員様
~森協会長のひとこと~

OB訪問
(株)ランドサイエンス 永田 健司OB(第36期ご卒業)

松江YEG交流会開催
鳥取県中小企業青年中央会 視察研修事業 連載
委員会訪問 人間力開発委員会
ちょっと聞いてや!! 県出向理事 竹ノ内賢一郎

5月例会へ向けて
人間力開発委員会 委員長 横山 友樹

相互理解と協調

2012.5 No.284

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 森協 哲雄 編集責任者/担当 副会長 小川 敦弘 制作・編集 37期広報委員会/委員長 松尾 友雄 印刷所/東京印刷(株)

第38期副会長・専務理事・理事・監事決定!!

副会長



長田 賢一 会員
(平成14年10月入会)

茅野 康洋 会員
(平成8年7月入会)

後藤 太良 会員
(平成13年2月入会)

牧田 継夫 会員
(平成15年5月入会)

竹ノ内賢一郎 会員
(平成19年8月入会)

松田 幸紀 会員
(平成16年12月入会)

須山 裕文 会員
(平成16年1月入会)

理 事



古谷 一朗 会員
(平成18年3月入会)

上田 康文 会員
(平成19年12月入会)

盛政 春樹 会員
(平成22年3月入会)

長谷川貴久 会員
(平成11年12月入会)

白石 博昭 会員
(平成19年10月入会)

濱田 修 会員
(平成17年3月入会)

監 事



横山 友樹 会員
(平成20年11月入会)

岩田 剛 会員
(平成18年5月入会)

渡辺 一徳 会員
(平成11年6月入会)

第38期県出向役員候補決定!!

【県出向専務理事】

【県出向理事】

【県出向監事】



桑本功一 会員
(平成12年1月入会)

今川圭一 会員
(平成17年8月入会)

小椋崇永 会員
(平成13年10月入会)

内田和也 会員
(平成13年2月入会)

竹中和本 会員
(平成7年1月入会)

長谷川洋司 会員
(平成18年6月入会)

田中健雄 会員
(平成20年3月入会)

4月例会開催!!

日時：平成24年4月14日(土)

場所：米子市児童文化センター及び米子城址

米子市児童文化センターに於いて、4月家族例会が開催された。当日は臨時総会が開催され、第1号議案会則変更の件、第2号議案次年度副会長及び専務理事承認の件、第3号議案次年度理事・監事・県出向役員承認の件が満場一致で承認された。

続いてご家族の方々がご入場され、森協会長より「本日のテーマは家族・仲間との絆、再発見!!」です。年に一度開催されるこの例会で理解と懇親を深めてください。」と挨拶があった。

土岐副会長の号令のもと準備運動が行われ、いよいよ米子城址の登山スタートへ。天候にも恵まれ少し汗ばむ陽気の中、どんどん先に登ってゆく元気な子供たちを横目に、必死についてゆく会員の姿が印象的であった。



山頂での記念撮影の後、雄大な桜の木を背にして、須山副会長が「米子城址の歴史」を紙芝居で披露された。歴史は面白いと、改めて感じる内容であった。下山後食事に移り、おにぎり作りや餅つきを家族と一緒に楽しみ、災害時の炊き出しを想定した豚汁と焼きそばが振舞われた。恒例?となっているお菓子なおじ様も登場し、終始賑やかな雰囲気で行われた。



場所を移し、トライアスロンタイムが行われた。岩田実行委員長より各部長・選手の紹介があり、盛政AS部長、牧田マロン部長、土岐ボランティア部長、チームで出場するスイム安岡会員、バイク白石会員、ラン土岐会員、サポート横山会員より、それぞれ挨拶があった。

続いて、「応急処置・止血方法等について」博愛病院看護師の酒井知恵子様、米子

消防署救急救命士の岡田勉様、江府消防署生山出張所の香川大輔様を講師に迎え、実演を交えながらご講演いただいた。それぞれ子供の視点に立ち、救急隊への電話のかけ方や止血方法、脱水や熱中症対策を学んだ。パニックに陥らず冷静に対応する必要性、意識があるかないかの見分け方は呼びかけに反応があるかないか、止血方法は縛るのではなく直接圧迫するのが正解など、緊急時に備えた知識を再確認することができた。とりわけ止血方法では、本物と見間違えるようなとてもリアルな傷口から血を流し止血する実演形式をとられ、子供たちの脳裏の中にも十分に埋め込まれた様子が伺えた。



最後に北口直前会長から挨拶があり、4月家族例会は大盛況のなか閉会した。本例会は会員68名、大人29名、子供40名の総勢137名の参加があった。家族との絆も再確認できとても有意義な一日となり、改めて担当された第37期役員の方々にお礼を言いたい。ありがとうございました。

(記事:高塚)

4月例会を終えて...

中央会ブルーの空の下、米子市児童文化センター・米子城址において4月家族例会を開催しました。

テーマを「家族・仲間との絆、再発見!!」とし、当たり前の幸せが如何に大切なものなのか再認識しようとの想いで1月から委員長・県出向理事を中心に準備いたしました。

当日はご家族を含め137名にご参加頂き盛況に開催できましたこと、感謝申し上げます。

4月家族例会 リーダー:専務理事 岩田 剛

米子城登山では須山副会長による紙芝居風「米子城の歴史解説」、博愛病院の酒井看護師による緊急時の119番通報の仕方、応急処置方法など、ご講演いただきました。

何よりも天候に恵まれ、会員とご家族が笑顔あふれる例会となったことが良かったかと思えます。今期も残すところあと2回。5月・6月の担当委員会の皆さん、最後まで宜しくお願いします。

5月例会に向けて



今期のスローガンは「成長」。皆さんは今期を振り返ってみて、少しでも「成長」出来ましたでしょうか? 「成長」の証は「変化」です。今期が始まる前の自分と今を比べて、変化がありましたでしょうか?

私たち会員が中央会に入会した動機で共通して言えるのは、会に入って「成長」したいということではないでしょうか。会の活動を通して、会員が切磋琢磨し合い、成長し続け

ることが大切です。

5月例会では会の活動を通じて成長し続けるためには、如何に会の活動に取り組むべきか、一人一人に改めて考えてもらいたく企画しました。第一部では今期ご卒業予定の皆様、自らの会の活動を振り返ってもらい、思い出話や参考話、後輩へのアドバイス等をお話して頂くことにしています。第二部では各年代ごとのグループ討議を企画しています。是非、多くの会員にご参加いただき、今後の中央会活動の参考になればと考えています。

(人間力開発委員会 委員長 横山 友樹)

OB訪問

㈱ランドサイエンス

永田健司 OB (第36期ご卒業)



今月は第36期ご卒業永田健司OBを訪問しました。

まず驚いたのは、入会のきっかけはお勤め先上司の遠藤会長様(当会7期卒業OB)から5年間の長期研修に参加してもらった、との業務命令からだったそうです。入会時の年齢も40歳ということで、今となってはその5年という限られた期間であったからこそ、いろんな経験ができたようです。

委員会の会計をはじめ、副委員長、委員長、県出向と様々な立場でいる方々と活動をとることができたのも、中央会ならではの財産。思い出として心に残るのは35周年記念行事。委員長として臨んだ政治行政委員会。当時会長であった増井会長から、「35

周年ではなんでもやっていいよ。」との有難い言葉を頂き、自分の好きなスポーツであるサッカー、ガイナレ鳥取を招待し地域の子供たちを集めてのサッカー教室を企画。会員含め総勢300名の大イベント。間近でみるプロのサッカー選手のプレーやトークに子供たちはもちろん、会員の大多数もその家族とともにイベントを楽しむことができました。

また担当例会では、赤澤・湯原両代議士をお呼びしての自民VS民主の討論会を実施。貴重なお話を間近で聞くことができ、35周年の記念となる例会でした。

やはり振り返って思うのは、参加してはじめて分かる中央会のよさがあること。いろんな人とかかわってみて学ぶことが本当に多かったようです。中央会には社長、役員、中間管理職いろんな立場の方がおられ、一人一人が会で自覚を身につけながら、自己の成長につなげていけるのも会のよさ。

今後もOBとして積極的に会とのかかわりを大事に考えていきたいとのことでした。(記事:薬師寺)

委員会訪問

~人間力開発委員会~



平成24年4月6日(金)「レストランぶどうの木」に於いて開催された人間力開発委員会にお邪魔しました。

役員会報告時の新人会員の拡大の議題では、各会員が率先して情報を伝えている状況で一丸となって取り組んでおられました。

松江YEGとの交流事業の反省について、「密に連絡を取り合う場合は、メールより電話で話した方が間違い少ない。」「積極的に名刺交換ができた。」との話がありました。

新人オリエンテーションの準備について、主担当には前回受講側だった会員を配置したりして、人に伝えることの難しさを経験するチャンスを与える状況を作る等の工夫をしておられました。

5月担当例会については、「37期、このメンバーでは最後になるので、委員長の想いを軸に考えてみては。」という意見が会員から出る中、オリジナリティあふれる内容で考えておられます。次の例会が、とても楽しみです。

お邪魔した身ではありますが、同じ場所において、自分にとっても勉強になりました。(記事:角田)

松江YEG交流会開催



平成24年3月24日(土)松江商工会議所に於いて、松江商工会議所青年部・鳥取県西部中小企業青年中央会との交流事業が開催されました。

両団体の会長挨拶から始まり、活動紹介、交流事業の主旨説明、その後、中海・宍道湖圏域の将来を考えるというテーマについて講演、ディスカッションが執り行なわれた。

講演では内閣官房・内閣府 参事官補佐として活躍中の坂本成次先生から、政府一体となった地域活性化の仕組み「総合特区制度」についてご説明いただきました。

その採択実績や県境を越えた総合特区の事例、さらには申請にあたっての留意ポイントや伝道師の紹介があった。

グループディスカッションでは両団体会員同士がグループとなり県境を跨ぐ連携に対するメリットと必要性、理想とする連携の在り方について話し合わせ、代表グループから観光面で連携する事の重要性が発表されていた。

両団体が地域活性化のため議論し、協力し合うことで一歩ずつでも県境の隔たりを無くし、「山陰両県がともに活性化していける。」と感じさせる交流会でした。(記事:足立 匡)